

第21回本試験ライティング問題 模範解答例

2017年6月24日に行われました、第21回本試験ライティング問題の模範解答を記載いたします。本試験ではライティング問題として実際にテーマに沿った文章を作成して頂きます。次回の本試験の参考にしてください。

【解説】ライティング問題は減点方式を採用しています。

日本クラウドソーシング検定協会ホームページの解答速報および問題例

(https://crowd-kentei.or.jp/about_test/grading/)

ではより詳しくライティング問題のルールを記載しておりますので、ご参考下さい。

模範解答では下記の点などを守っています。

- ・キーワードは必ず文中で使用してください。
- ・記述すべきテーマから外れないように記述してください。
- ・規定された文字数を超えないようにしてください。
- ・「です・ます」「である・だ」等表記の統一を行ってください。
- ・主語、述語等は正しく使用してください。

【問.1】デジタルカメラについて 240 文字以上 300 文字以内で記述してください。

*文字数は下にカウントされていますのでご参照ください。

*ライティング問題は、コピーアンドペーストはできません。

*キーワードは必ず文章内で使用してください。

*書き出し例文は例文ですので、そのまま使用することは禁止です。

【書き出し例文】近年デジタルカメラを趣味とする人が増えているようです。

キーワード1：高画質

キーワード2：思い出

【模範解答1】274文字

記念日などに写真を撮る方や日常的にカメラを持ち歩き、撮影を趣味としている方は多いことでしょう。

現在ではデジタルカメラが主流となり、フィルムカメラで撮影していた頃と比べ、手軽に写真撮影を楽しむことができます。

例えば、撮影した写真を即時に液晶モニターで確認できる他、ピント合わせや手ぶれ補正などが手軽にできるため、フィルムカメラと比べ、イメージに合った写真を撮ることも可能です。また高画質の写真をデータで保管ややり取りが可能のため、より簡単に思い出の写真を共有できるようになりました。そのことにより多くの人が写真撮影を楽しむようになったと考えられます。

【模範解答2】286文字

昨今デジタルカメラで写真撮影を楽しむ方が増えているようです。

その理由の1つとして Facebook や Instagram など SNS サイトの普及を挙げることができます。

これまで流行していたブログ形式の SNS サイトと比べ、画像の投稿が手軽に行えるだけでなく、画像をメイン

としたコミュニケーションが簡単にとれるようになりました。

そのため旅行の思い出や食事内容などをデジタルカメラで撮影し、サイトに写真を投稿する方が増えてきたのが原因の1つと考えられます。

またレシピサイトやインテリア投稿サイトなどでも高画質の画像投稿が一般化しているため、今後も SNS の進化と共に、デジタルカメラで写真撮影を楽しむ方が増えていくことでしょう。

【模範解答 3】 295 文字

写真撮影の際にデジタルカメラを利用している方は多いことでしょう。

デジタルカメラはフィルムカメラと違い、撮影した画像をデジタルデータとして保存できるのが大きな特徴です。

またパソコンにデータを取り込み編集したり、自宅のプリンターで印刷できたりする手軽さも人気です。

近年では、Wi-Fi や Bluetooth を使い、パソコンやスマートフォンに撮影した画像を転送する機能が付いたデジタルカメラも出てきました。そのため SNS に画像をアップロードする方にとってもデジタルカメラは非常に便利なツールといえるでしょう。

高画質な写真が簡単に撮ることができるので皆様も、思い出や日常の撮影にデジタルカメラを使ってみてはいかがでしょうか。

【問.2】 ラーメンについて 240 文字以上 300 文字以内で記述してください。

*文字数は下にカウントされていますのでご参照ください。

*ライティング問題は、コピーアンドペーストはできません。

*キーワードは必ず文章内で使用してください。

*書き出し例文は例文ですので、そのまま使用することは禁止です。

【書き出し例文】 様々な種類があるラーメンは日本を代表する有名な食べ物の1つです。

キーワード1：人気

キーワード2：種類

【模範解答 1】 253 文字

ラーメンは、年齢や性別を問わず幅広い世代に人気の食べ物といえるでしょう。

中華料理屋や専門店だけでなく、フードコート、ドライブインなどでもラーメンを取り扱う場所が多いため、気軽に食べることができます。

また店によって塩味、しょうゆ味、みそ味などスープに違いがあるだけでなく、麺にも平打ち麺、細麺、太麺などの種類があり、その店ごとに味が大きく変わるという特徴もあります。

更にチャーシューやたまご、ネギなどトッピングを増やし、自分の好みに合わせた一杯を注文できることも、ラーメンが人気である理由なのかもしれません。

【模範解答 2】 250 文字

好きな食べ物にラーメンを挙げる方は多いのではないのでしょうか。

ラーメンはスープの種類やトッピングの豊富さから、好みにあった物を

食べることができます。また、その土地ならではの食材が使われたご当地ラーメンも多く、

それを目的にラーメンの食べ歩き旅行を趣味にする方もいるほどです。

近年では、ミシュランやザガット・サーベイなどのレストランガイドでも国内外のラーメン屋が取り上げられる

こともありラーメン人気は世界中に広がっていると言えるでしょう。
ガイドを片手にご自分の好みに合った一杯を探すのも良いかもしれません。

【模範解答 3】 284 文字

年齢や性別を問わず、ラーメンが好きと言う方は多いのではないのでしょうか。

現在、ラーメンについて取り上げたグルメ雑誌やグルメサイトを見ると、さまざまな種類のラーメン店を見つけることができます。

またお店で食べられるラーメンだけではなく、スーパーやコンビニエンスストアに並ぶカップラーメンも種類が豊富で、中には人気ラーメン店が監修したラーメンもインスタントで食べられることもできるようになりました。このようにラーメンは、店舗で食べるものやインスタントを問わず多くの人から好まれ、食べられているといえます。それは味の豊富さや食べやすさなどの要素があるからなのではないのでしょうか。

【問.3】七夕について 240 文字以上 300 文字以内で記述してください。

*文字数は下にカウントされていますのでご参照ください。

*ライティング問題は、コピーアンドペーストはできません。

*キーワードは必ず文章内で使用してください。

*書き出し例文は例文ですので、そのまま使用することは禁止です。

【書き出し例文】七夕になると全国各地で様々なイベントが開催されています。

キーワード1：短冊

キーワード2：願いごと

【模範解答 1】 268 文字

願いごとが書かれた短冊を笹に吊るすことで知られる七夕は、全国的に行われる行事というだけでなく、季節の変わり目とされる五節句のひとつでもあります。

また、地域によって違いがありますが、七夕の日にはそうめんを食べる風習が残る地域もあります。

これは、平安時代にそうめんの原型である索餅（さくへい）と呼ばれるお菓子を食べることで無病息災で過ごせる、という言い伝えがあり、そのことから七夕にそうめんを食べる風習が生まれたようです。

このように七夕にはさまざまな風習や由来があります。調べてみるとこれまでとは違った七夕を知ることができるかもしれません。

【模範解答 2】 293 文字

7月7日の七夕が近くなると、公共施設や商店街などで、短冊が飾られた笹飾りを目にする機会が増えてきます。

七夕は日本の四季を感じられる行事の一つでもあり、願いごとが書かれた短冊などを見かけると夏がやってきたと感じる方も少なくないでしょう。

現在は自分の願いごと書くというイメージが強い七夕の短冊ですが、昔は少し意味合いが違ったようです。

江戸時代には習字の上達を願って短冊に文字を書いたことが始まりとされています。またカラフルな短冊にも意味があり、これは中国の陰陽五行説にちなんだものとも言われています。

このような角度から七夕を見ると、これまでと違った楽しみ方ができるようになるかもしれません。

【模範解答 3】 282 文字

7月7日になると色とりどりの美しい飾り付けが目を引く七夕が行われます。

願いごとが書かれた短冊や飾り付けられた笹の葉などは、この季節には欠かせない風物詩と言えるでしょう。

七夕のイベントも各地で開催されており、毎年大勢の見物客で賑わいを見せるようです。

なかでも、宮城県仙台市で行われる仙台七夕まつりや、神奈川県平塚市で行われる湘南ひらつか七夕まつりなどが有名です。

それぞれ古くから行われる七夕祭りとして人気があり、華やかな七夕飾りなどを楽しむことができます。旧暦の七夕期間に開催されるイベントもありますので、スケジュールに注意しながら足を運んでみてはいかがでしょうか。

【問.4】お中元について 320 文字以上 400 文字以内で記述してください。

*ライティング問題は、コピーアンドペーストはできません。

*文字数は下にカウントされています。ご参考下さい。

*書き出し例文を参考にして文章を書いてください。書き出し例文をそのまま使用することは禁止です。

*この問題にキーワードはありません。自由に記述してください。

【書き出し例文】お中元は日本で古くから伝わる夏におこなわれる風習の1つです。

【模範解答 1】 343 文字

6月中旬になると、お中元の贈り物を考える方は増えてくるのではないのでしょうか。

毎年この時期になると、スーパーや百貨店だけでなく、ネットサイトなどでもお中元の特設コーナーが設けられます。ここでは食べ物から日用品までさまざまな品物を見ることができます。なかでもジュースやビールなどの飲み物だけでなくゼリーやフルーツなど、暑い夏に贈られると嬉しい食品が人気のようです。

種類が多くて何を贈ればいいのか悩んでしまう、と言う方は、日ごろお世話になっている方に喜んでもらえるような贈り物を選ぶとよいでしょう。

また、お中元を贈る時期としては、関東では7月初旬から中旬が一般的ですが、それぞれの地区によって違いがあるようです。そのため複数の地区にお中元を贈る場合はあらかじめ確認し注意するようにしましょう。

【模範解答 2】 377 文字

日ごろお世話になっている方に感謝を込めて品物を贈るお中元は、日本の特有の文化と言えます。

お世話になっている方へ感謝の気持ちを伝えることで、今後も円満な人間関係を築くことができます。しかし、お中元の贈り物として不向きなものもあります。そのような品物を贈ると礼節を欠くことになりかねませんので、お中元に贈ってはいけない物をあらかじめ覚えておくと良いでしょう。

まずは、4や9で語呂合わせできる品物は避けましょう。例えば髪をとかず櫛は「死」や「苦」を連想させてしまう物です。また、はさみや包丁などは「縁切り」を連想させてしまいます。更にハンカチもこれと同様の意味を持つので注意が必要です。贈り物として定番であるハンカチですが、日本語は「手巾（てきれ）」と言い手切れを連想させてしまうそうです。

お中元に適したものを贈り、感謝の気持ちを伝えられるよう心掛けましょう。

【模範解答 3】 338 文字

お中元としてお世話になっている方へ品物を贈ることで日ごろの感謝の気持ちを伝えることができます。なかには社会人になったので上司やお得意先にを贈る、と言う方も多いことでしょう。

しかし、商品の選び方やマナーについて知っておくべきことは沢山あります。そのため初めてお中元を贈ろうと考えている方の中には、分からないことが多くて心配という方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

例えば、贈る相手にもよりますが、贈り物の金額は3000～5000円程度が適切とされています。また贈り先のご家族の好みを事前に調べてから贈るのも良いでしょう。一般的に珍味や干物など味や匂いが特徴的な物、個性が強いものは避けることをお勧めします。

お中元は感謝を伝えるものですので、相手の気持ちを考え品物を贈るよう心掛けましょう。

ライティング問題-総評-

第21回WEBライティング技能検定 本試験を受験頂いた皆様、お疲れ様でした。

ここでは今回の第21回WEBライティング技能検定 本試験 ライティング問題の総評をお伝えいたします。

今回の本試験でも、4択問題において、高得点の方とそうでない方との差が明白に確認できています。また、合格された方はほぼ満点でした。4択問題は引き続き満点を目指す気持ちで学習を続けて下さい。

実技のライティング問題では、クラウドソーシング上では納品物として承認され難い内容（例えば説明を省略してしまったために意味が通りにくい文章や助詞の多用・誤使用、主観的な表現など）が多くみられました。今回惜しくも不合格となってしまった方は、本協会より案内しております解答速報、総評、また教材などをご参考にライティングスキル向上を目指し、学習に励んで下さい。

ライティング問題の総評では、より細かく、一部の方の解答を参考にしてご説明いたします。

まだライティングに自信がない方もライティングに自信がある方も総評を参考に学習して頂ければ幸いです。

*今回受験頂いた方の中から主な減点対象を抜粋して総評に加えさせて頂いております。

実技 ライティング問題の個別解答に対する減点箇所

問1 デジタルカメラについて240文字以上300文字以内で記述してください。

キーワード1：高画質 キーワード2：思い出

【解答例1】

「デジタルカメラが普及する以前は、銀塩カメラで撮ったあとは現像するまで被写体がどのように写っているかの確認ができなかった。」

上記解答例は、「デジタルカメラが普及する以前は～」からの一文で主語と述語のねじれが見られます。

【修正例1】

「デジタルカメラが普及する以前は、銀塩カメラを使用していた方が多かったといわれている。しかし銀塩カメラは撮ったあと、現像するまで被写体がどのように写っているかの確認ができなかった。」

上記修正例では、ねじれを直し文意を整える修正をおこないました。

文中に主語と述語のねじれが生じてしまうと、違和感を与えてしまう文章になりますので、注意しましょう。また、書き終えた文章を見直すだけでもこのようなミスを減らすことができます。

【解答例 2】

「デジタルカメラの再評価が著しいです。」

上記解答例では、表現が端的すぎていて、特にいつ再評価されたのかが分からないために、読者にとって不自然な文章となっております。

【修正例 2】

「近年デジタルカメラの再評価が著しいです。」

上記修正例では、文頭に「近年」と時期を記載する修正を行いました。

これにより、いつから再評価されているのかの意味を持たせることができました。説明が不足してしまうと、場合によっては読者に事実と異なるとらわれてしまう文章になりかねませんので注意しましょう。

【解答例 3】

「自分でパソコンを使って写真を加工したり、デジタルフォトフレームでスライドショーのように楽しむことができる点も魅力の1つです。」

上記解答例では、対等関係を示す「たり」が2回使われておりません。

【修正例 3】

「自分でパソコンを使って写真を加工したり、デジタルフォトフレームでスライドショーのように楽しんだりできる点も魅力の1つです。」

上記修正例では、「～たり」を2回使用し文意を整える修正を行いました。読者にとって読みやすい文章を心がけるようにしましょう。

【解答例 4】

「それらを高画質に写真に収めるためには、デジタルカメラが最適でしょう。」

上記解答文では、助詞である「に」の使用方法に誤りが見られます。

【修正例 4】

「それらを高画質な写真に収めるためには、デジタルカメラが最適でしょう。」

上記修正例では、文脈を鑑み正しい助詞を使用する修正を行いました。

助詞の誤使用は読者に違和感を与えてしまうものです。書き終わった後に文章の見直しを行うだけで、間違いを

見つけることができます。助詞の誤使用には注意しましょう。

【解答例 5】

「スマートフォンに**内臓**されているカメラでも写真撮影が可能ですが、デジタルカメラはスマートフォンで撮影したものより遥かに高画質な写真を撮ることができます。」

上記解答例では、『内臓』が誤字となります。

【修正例 5】

「スマートフォンに**内蔵**されているカメラでも写真撮影が可能ですが、デジタルカメラはスマートフォンで撮影したものより遥かに高画質な写真を撮ることができます。」

上記修正例では、誤字を修正しました。特に WEB ライティングでは変換ミスが起こりやすいので、一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤字脱字だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

問2 ラーメンについて 240 文字以上 300 文字以内で記述してください。

キーワード1：人気 キーワード2：種類

【解答例 1】

「世界で人気の「日本食」は、**といえ**ばラーメンであろう。」

上記解答文では、言い切りの表現がみられます。

【修正例1】

「世界で人気の「日本食」とい**え**ばラーメンと答える方も**多い**のではないだろうか。」

上記修正例では、文脈を鑑み、言い切りの表現を避けた文章例を作成しました。このような表現がある文章は情報を限定してしまうため、読者に違和感を与えてしまうものになります。また筆者の意見が強くなることが多いと感想文のような内容になってしまいます。このような表現は試験では大きな減点対象となってしまうので、注意して文章作成を行いましょ。

【解答例 2】

「カロリーで気になる女性は**好まない**かもしれませんが、**嫌い**という方は**そういない**と思います。」

上記解答例は、「～と思われ

【修正例 2】

「カロリーが気になる女性は**好まない**かもしれませんが、**嫌い**という方は**少ない**のではないでしょう

上記修正例では、「～と思われます」という表現は筆者の意見が強くなり感想文のような内容になってしまい試験では大きな減点対象となってしまいますまたそのような文章はクラウドソーシングサイトで承認を得られないことも多くありますので主観的な表現を使わないように注意しましょう。

【解答例 3】

「ラーメンといえば、日本で食べる食品ではないかと考えられています。」

上記解答例は、主語がなく且つ「日本で食べる食品」という表現が不自然です。

【修正例 3】

「ラーメンといえば日本を代表する食べ物の1つではないでしょうか。」

上記修正例では、意味が通るよう文章を修正いたしました。
文章を作成した後は、意味が通じやすい文章になっているかなどを確認することが大切です。

【解答例 4】

「いろんな種類があるラーメンですが、それぞれに人気のあるおいしいラーメン店があります。」

上記解答例は、口語表現と文語表現が混在する文章です。

【修正例 4】

「様々な種類があるラーメンですが、それぞれに人気のあるおいしいラーメン店があります。」

上記修正例では、「いろんな」という口語表現を「様々な」という文語表現で修正を行いました。このような口語表現がある文章は、読者にとって読み難い文章になってしまいかねませんので注意しましょう。

【解答例 5】

「一口にラーメンと言っても、様々な種類があります。」

例えば、スープの味には、とんこつ、醤油、塩、味噌、魚介系などがあります。

また、麺にも、太さの違いやストレート麺、縮れ麺など、バリエーションがいろいろあります。」

上記解答例は、短文が続き且つ文末が統一されている箇条書きのような印象を与えてしまう文章です。

【修正例 5】

「ラーメンには様々な種類があり、スープの味ですととんこつ、醤油、味噌や魚介系などがあります。」

また麺の種類も太さの違い、ストレート麺、縮れ麺などバリエーションが豊富です。」

上記修正例では、接続詞を使うことで前文との文意をつなげ、箇条書きのような表現にならないよう修正をおこないました。箇条書きのような短い文章が連続してしまうと、読者にとって読み難い文章になってしまいかねま

せんで注意しましょう。

問3 七夕について240文字以上300文字以内で記述してください。

キーワード1: 願いごと キーワード2: 短冊

【修正例1】

「日本全国から人が集まる場所で、七夕では何をするのかと質問すると、**全く同じ答えが返ってくることは少ない。**」

上記解答例では、「全く」という表現と同じ文の終わりが「少ない」という表現になっており、表現のねじれが見られます。

【修正例1】

「日本全国から人が集まる場所で、七夕では何をするのかと質問すると、**同じ答えが返ってくることは少ないでしょう。**」

上記修正例では、ねじれを直し文意を整える修正をおこないました。

文中に表現のねじれが生じてしまうと、違和感を与えてしまう文章になりますので、注意しましょう。

また、書き終えた文章を見直すだけでもこのようなミスを減らすことができます。

【解答例2】

「一例として仙台では8月（旧暦の7月）に行われ、**また**商店街が大きな七夕飾りで彩られる。
また笹船を川に流す地方もある。」

上記解答例では、「また」という同じ接続詞が連続して使われているために、読者にとって読み難い文章となっております。

【修正例2】

「一例として仙台では8月（旧暦の7月）に行われ、また商店街が大きな七夕飾りで彩られる。
さらに笹船を川に流す地方もある。」

上記修正例では、連続して使用されている「また」を「さらに」という接続詞に修正いたしました。同じ接続詞が連続で使用されていると読者にとって読み難い文章になってしまいかねません。これらは書き終えた文章を見直すだけで軽減できますので、見直しをするよう心掛けましょう。

【解答例3】

「七夕というと彦星と乙姫を**思い浮かべるイメージ**がありませんか。」

上記解答例では、「思い浮かべる」と「イメージ」という類似表現が一文に連続して使用されているため、読者に

読みづらい文章となっております。

【修正例 3】

「七夕というと彦星と乙姫を思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。」

上記解答例では、「イメージ」という表現を削り文章を整える修正を行いました。一文内に類似表現を多用しすぎてしまうと読者に読み難さを与えてしまうだけでなく、読者にとって読み難い文章になってしまいかねませんので注意しましょう。

【解答例 4】

「七夕は、日本において、風習のひとつです。」

上記解答例は、説明が不足している為、文章が不自然です。また読点が正しく使われておりません。

【修正例 4】

「七夕は短冊に願いごとを書き記し、笹の葉に飾り付けるという日本で古くからおこなわれている風習のひとつといわれています。」

上記修正例では、意味が通るよう文章を加筆修正いたしました。また不要な読点も削除いたしました。不要な読点が多い文章は読者に読みにくさを与えてしまうだけでなく、場合によっては複数の文意が生じ、意味が通じにくいものになってしまいますので注意しましょう。

【解答例 5】

「地域による差はあるものの、七夕祭りで必ず見られるのが、願いごとを書いた短冊を笹につるした飾りです。」

上記解答例は、指定されたキーワードが「願いごと」ではなく「願いこと」となっており、誤字です。

【修正例 5】

「地域による差はあるものの、七夕祭りで必ず見られるのが、願いごとを書いた短冊を笹につるした飾りです。」

上記修正例では、誤字を修正いたしました。たとえ良い文章であっても指定されたキーワードが正しく使用されていないとクラウドソーシング上では、納品物として承認されないこともありますので注意しましょう。一度作成した文章は必ず与えられたキーワードが入っているか確認するようにしましょう。

問 4 お中元について 320 文字以上 400 文字以内で記述してください。

キーワード なし

【解答例 1】

「お中元はお世話になっている人に感謝の気持ちと健康を願い、ものを贈る日本に古くからある風習ですね。」

上記解答例では、口語表現と文語表現が混在する文章です。

【修正例 1】

「お中元は日ごろお世話になっている人へ感謝の気持ちと健康を願い、ものを贈る日本に古くからある風習の1つといえるでしょう。」

上記解答例では、上記修正例では「古くからある風習ですね」の口語表現を「古くからある風習の1つといえるでしょう」という文語表現に修正を行いました。このような口語表現がある文章は、読者に違和感を与えてしまいますので注意しましょう。

【解答例 2】

「お中元は日本で古くから行われている風習の一つですが、時代とともにその形が変わってきていますが日本の風習としては根強いのも事実です。」

上記の解答例は、「お中元は～」の一文で「～が」が連続して使用されており、読者に読み難さを与えてしまっている文章です。

【修正例 2】

「お中元は日本で古くから行われている風習の一つです。その形は時代とともに変わってきていますが、日本の風習の中では根強く行われているものといえるのではないのでしょうか。」

上記修正例では、読者に意味が伝わるように一文を区切る修正をおこないました。同じ助詞を連続して使用することで読者に読み難い印象を与えてしまいかねませんので、注意しましょう。

【解答例 3】

「お中元とは日ごろからお世話になっている目上の方などへ感謝の気持ちを表し、また健康をお祈りするために行われる慣習の一つです。」

上記解答例は、一文に助詞である「の」が多用された文章です。

【修正例 3】

「お中元とは日ごろからお世話になっている目上の方などへ感謝の気持ちを表し、また健康をお祈りするために行われる慣習といえるでしょう。」

上記修正例では、文意を鑑みて助詞の数を整え自然な形で修正を行いました。同じ助詞を多用してしまうことで、読者に読み難さを与えかねませんので注意しましょう。

【解答例 4】

「テレビコマーシャルが始まると夏を感じる、という人も少なくないと思います。」

上記解答例は、主語がありません。また「～と思います」と主観的な表現が見られます。

【修正例 4】

「お中元のテレビコマーシャルが始まると、夏を感じる方も多いのではないのでしょうか。」

上記修正例は、「お中元」という主語を付けることで文意を整える修正を行いました。また文脈を鑑み、「～も多いのではないのでしょうか」と主観的な表現を避けた文章例を作成しました。このような表現がある文章は筆者の意見が強くなることが多く感想文のような内容になってしまいます。そのため試験では大きな減点対象となってしまうので、主観的な表現を使わないように注意しましょう

【解答例 5】

「お中元は暑い時期ならいつでも送って良いというわけではなく、関東では7月初旬から7月15日まで、関西では7月下旬から8月15日までに贈るのが一般的です。」

上記の解答例では、「送って」「贈る」と表記ゆれがあります。

【修正例 5】

「お中元は暑い時期ならいつでも贈って良いというわけではなく、関東では7月初旬から7月15日まで、関西では7月下旬から8月15日までに贈るのが一般的です。」

上記修正例では、漢字の「贈る」で統一しました。表記ゆれは読者に違和感を与えてしまいかねませんので、注意してください。また見直しを行うことで軽減できますので、文章作成後は見直しを行うようにしましょう。

実技 ライティング問題の総合的な減点箇所

今回受験頂いた方の内、惜しくも不合格となられた方々に共通する減点箇所としては、助詞の多用・誤使用、読者に読み難い文章、主観的な表現などが多く見受けられました。その他では、短文が連続した文章や誤字脱字などが目立っております。

主観的な表現は感想文のようになり読者に読み難さを与えてしまうだけでなく、クラウドソーシング上でも非承認になりやすい文章ですので注意しましょう。

また一文に情報を詰め込み過ぎしまうと、助詞の連続使用や不自然な表現など意図しないミスが多くなる場合があります。ライティングを終えた際には必ず文章の見直しを行うことで、誤った表現や意味が通り難い文章の有無などを確認することができます。